

2021年度 授業改善アンケート第1Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
倫理学入門	1 Q	遠藤 均	ほとんどがWEB授業であり、授業の内容もかなり難しかったにもかかわらず、全般的に、よくついてきてくれたと感謝している。ただ、あまりに理解に苦しむコメントを記入した人がいることは残念に思えた。
哲学入門	1 Q	遠藤 均	大半がWEB授業であったにもかかわらず、理解しようと努めてくれたことに感謝している。
日本の歴史	1 Q	牧之内 友	本講義は、体系的な歴史的知識を身につけることもさることながら、学生と共に史料を読み進めて歴史の面白さを味わってもらいたかったです。しかし受講生が200人を超えるなか、どうしても一方的な授業となり、難しく感じたり、配布資料が多いと感じた学生も一定数いました。一方、歴史への関心を高めてくれた学生も多くいました。コロナ禍に伴う遠隔授業実施など、昨年にかけて難しい状況の中で受講してくれた学生のみなさんに感謝いたします。
基礎英語Ⅰ (SDA-1)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「英語がわからない人を置いていかないように進める授業がとても良かったと思います。」「復習を何度もしてもらえるので、大変理解しやすかった。また、聞きやすい環境で自分の分からないところを明確にできて物凄く楽しかったです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
基礎英語Ⅰ (SDA-2)	1 Q	宮嶋 達也	クラスのレベルについては全体的には習熟度別になっておりますが、そのクラス内でもレベルの差が大きく、どのレベルで授業を進めていくのが課題ですができるだけクラス全体が満足のいく授業進行を心がけていきたいです。
基礎英語Ⅰ (SDA-3)	1 Q	横田 肇	概ね、受講者からはプラスの評価をもらい、ほっとしている。説明方法、パワポの提示等、改善が生かされたと思う。同時に、今年を受講生の取り組む姿勢のよさも目立ち、それとの相乗効果もあると思う。今後に向け、好評価を維持できるようにさらなる授業と学生の英語力の向上に向けての工夫に努めたい。
基礎英語Ⅰ (SDA-6)	1 Q	井坂 肇	授業の構成や内容、ペース配分は適切に行えていたように思う。英語が苦手な学生にとっても授業を受けやすい環境を整えることが出来た。授業の理解度もアンケートやテスト結果を見ると高かったように思う。しかし授業の中で既存の知識を運用していくような取り組みはほとんど出来ず、応用力を高めることが出来たかはこのアンケート結果からは判別できない。この部分に関して次回小テスト等で確認していきたい。
ドイツ語入門Ⅰ (M)	1 Q	河田 一郎	「楽しかった」、「すごくわかりやすかった」、「しつこくみんなが理解できるようにやってくれた」等、高評価をいただき、嬉しく思っています。ドイツ語検定試験合格も視野に入れて、第4Qでまたお会いするのを楽しみにしています。
ドイツ語入門Ⅰ (S・D・A)	1 Q	河田 一郎	「何度も反復して覚えられた」、「とても面白くて多くの発見があった」とのコメント、授業を行う側としては、とても嬉しい評価です。ますます楽しい授業を目指したいと思います。マスク着用のため、少しでも聞きやすいようにとマイクを使用していますが、今後は音量をさらにアップして授業に臨みたいと思います。
上級日本語Ⅰ (留学生)	1 Q	竜野 征一郎	アンケート結果をふまえ、より良い授業を行えるように取り組んでいきます。
ソーシャルワークの基盤と専門職 (M)	1 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。今後も感染防止対策・リフレッシュタイムを取りながら授業を展開していきたいと思います。評価いただいた、受講者の質問への回答を行いながらの前回授業の振り返りや授業で使用するパワポ資料等の事前公開は続けていきたいと思っています。理解しやすい授業をさらに心がけていきます。
ソーシャルワークの基盤と専門職 (S)	1 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。今後も感染防止対策・リフレッシュタイムを取りながら授業を展開していきたいと思います。評価いただいた、受講者の質問への回答を行いながらの前回授業の振り返りや授業で使用するパワポ資料等の事前公開、録画公開は続けていきたいと思っています。資料の工夫もしながら理解しやすい授業をさらに心がけていきます。
社会保障Ⅰ	1 Q	大倉 司	授業の進み方が早いという意見もいただきましたが、今後ともシラバスの内容を分かりやすく伝えていく努力を重ねて行きたいと考えております。

低所得者に対する支援と生活保護制度	1 Q	大倉 司	オンライン授業が多かったこともありパワーポイント資料を使っの授業が多くなりました。資料の提示方法については好意的な意見を頂きましたが、教科書の使い方も含めて更に分かりやすい授業を展開したいと思います。
保健医療サービス	1 Q	中村 則子	福祉職に必要な社会動向や制度改革など、国家試験を意識して進めています。十分伝えきれていないようです。授業への集中やテキストの用い方、解説方法、伝え方などさらなる工夫が必要と考えています。
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	1 Q	畠山 明子	受講された皆さんには積極的に出席いただきありがとうございました。皆さんに障害者福祉に関心を持っていただき、かつ、社会で生活していくうえで必要となる知識をお伝えできるよう、引き続き教材や教授法を工夫していきたいと思っています。
福祉行政と福祉計画 (M)	1 Q	小早川 俊哉	今後も理解しやすい授業を心がけます。
福祉行政と福祉計画 (S)	1 Q	小早川 俊哉	進むのが早いとのこと。特に遠隔の際、パワーポイントを書き取る時間がなかったとの意見に対して、これまで以上に待つことを心がけます。しかしながら、前もって資料も配布しているので、ポイントをメモして復習の際にノートを作成するように心がけてください。自分の言葉で理解することが重要です。
福祉サービスの組織と経営	1 Q	大島 康雄	知識を確認することを繰り返して行いました。授業内容自体は演習などないので退屈されるかもしれないと工夫をしています。皆様が卒業して就職する時に役立てばと思い、社会人として必要な知識もお伝えしました。
美術学概論 I	1 Q	金子 敏也	遠隔授業で苦労が多かったと思います。ご苦労さまでした。
建築環境 I	1 Q	佐々木 哲之	授業の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが大切であるが、オンライン授業の難しさが出た今年度であった。アンケートにおいて「理解度を確認」「理解できましたか」「満足していますか」の各項目において「あまりできない」が4%あり、これは、学生の表情、反応が読み取れず授業を進めた結果が出ていると思われる。このことは改善していきたい。
建築法規 I	1 Q	佐藤 善太郎	一部、「進め方が早い」という人が居ました。はじめて、建築基準法にふれた学生が大半でしょうから、普段よりもゆっくり話したつもりでしたが聞き慣れない言葉がたくさん出てきて戸惑った人も居たかもしれません。理解できない所があったら、「投稿」でも「チャット」や「メール」でも良いので聞いてください。
経営学総論	1 Q	信濃 吉彦	経営学部生として、最初に学ぶ専門的科目なので、まずは調べることと資料作りに慣れてほしかったのでほぼ目的は達成できたのではないかな。ただ、興味のある分野とそうでないところの落差が激しすぎる。万事積極的に取り組むことを覚えてほしかった。
スポーツ経営管理論	1 Q	信濃・鈴木重	回答ありがとうございます。授業時間の配分、授業の進め方、学生の理解度等の確認を怠っていたようですので改善、工夫に努めたいと思います。ありがとうございます。
スポーツ経営管理論 (SP)	1 Q	信濃・鈴木重	回答ありがとうございます。授業時間の配分、授業の進め方、学生の理解度等の確認を怠っていたようですので改善、工夫に努めたいと思います。ありがとうございます。
スタートアップ 演習 (D)	1 Q	北嶋 洋一	シラバスの確認をガイダンス以外でも度々行うようにして、未見の者を減らしていきたい。対面とオンラインの切り替えに際して作業時間の配分に無理が生じていたようである。次年度は余裕をもった進行を心掛けたい。理解度の確認方法がオンラインの場合不十分だったと思われる。今後は双方向の対応を増やしていきたい。
文章表現演習 (A)	1 Q	津田 昭彦	このクォーターの授業は履修人数が比較的多かったため、きちんと伝えきるためにはどうしたらいいか、試行錯誤を繰り返しました。アンケートの結果としては、それなりに評価はしてもらえたのかと思いつつ、オンラインでの指導にはまだまだ改善の余地があると感じています。たとえば、添削したものと解説とを返信する際、人数が多いとどうしてもタイムラグができてしまい、多くの学生を待たせてしまう点など、工夫していききたいと思います。
社会福祉の原理と政策 I	1 Q	小早川 俊哉	予習の段階では授業で何をやるか(概要)を理解し、復習の際にしっかりと自身の言葉でノート作成をしてください。自身の言葉で説明できるようになることが重要です。
相談援助の理論と方法 III (M)	1 Q	大島 康雄	相談援助の理論と方法 III は I・II を履修した学生の積み重ね科目の性質があります。ご意見のような思いをさせてしまったことに反省をいたしますが、授業の中でも理解していただいたように授業を成立させるための言葉がけがあのようになっていました。

相談援助の理論と方法Ⅲ (S)	1 Q	大島 康雄	アンケートを読んでとても安心しました。皆様に思いが伝わっているのが実感できました。本当にありがとうございます。また、ご意見いただいたことに対して少しでも改善できるようにしていきたいとおもいます。これからもよろしくをお願いします。
地域福祉の理論と方法Ⅰ (M)	1 Q	上原 正希	全体的に高い評価を頂きました。「オンライン授業などで対応が難しい中、最も早く適切に対応していたと思う。このような教授は経営にはいなかったのかもしれませんがだと思った」上記コメントに驕ることなく授業を展開していきます。
地域福祉の理論と方法Ⅰ (S)	1 Q	上原 正希	全体的に高い評価を頂きました。「言葉遣いが悪い」というコメントもありましたが、同じ経営学科からの学生からは、「オンライン授業などで対応が難しい中、最も早く適切に対応していたと思う。このような教授は経営にはいなかったのかもしれませんがだと思った」とのことでした。プラス思考で、上記コメントに驕ることなく授業を展開していきます。
発達心理学Ⅰ	1 Q	佐々木 智城	授業はパワーポイント、プリント、動画などを組み合わせてできるだけ分かりやすくしています。また、毎回授業の冒頭で、前回の授業での質問への回答から始めて理解を深めるようにしています。今後も分かりやすく、理解が進むように工夫していきます。
保育原理	1 Q	吉江 幸子	「保育原理」を真剣に聞いていただきありがとうございます。アンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります。途中からオンライン授業となったことで、授業内容が把握しにくいのでは?と思いましたが、提出された試験レポートを見た時に、理解を深めたことが伝わりました。今後も”プチ実技”を加えながら講義と実践を進めていきます。皆さんのカメラワーク(プチ実技の折り紙を写真で送ってくれる)にも助けられ、写真がとても楽しみでした。皆さんたちのアイデアがどんどんあふれてくるので、頼もしさを感じました。
特別支援教育総論	1 Q	堀川 厚志	今後もシラバス通りに進めたい。内容のバランスについては、年単位で随時見直しをする。
肢体不自由者の心理・生理・病理	1 Q	坂上 俊樹	全設問を通して、とても高い評価をいただいていることに感謝しています。特別支援学校での経験をできるだけわかりやすく伝え、障害のある子どもたちの真の理解者が増えることを期待しています。しかし、設問8「この授業の内容は理解できましたか」の「とてもよく理解できた」が54%であることを受けて、さらに理解してもらえよう教材研究と提示の仕方の工夫に努力したい。
視覚障害教育総論	1 Q	酒井 宏三	最後の講義でありましたが、毎回熱心に聴講し、予習課題を着実にしっかりやりとげた学生の皆さんに心から感謝いたします。 稚拙な遠隔授業で、しかも対面で予定した体験的なことが困難になったことが多いにもかかわらず積極的・意欲的に学ぶ態度に感銘を受けました。90分しっかり見つめる皆さんのまなざしは忘れられません。
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	1 Q	大島 康雄	制度の知識を身に着けることは大事ですが、私たちは相手に合わせてサービスを調整することになります。そのために、考えることなどを身に着ける必要があります。あのような授業にしております。どうか、よろしくをお願いします。
臨床心理学	1 Q	佐々木 智城	授業がオンラインになり、実施できない心理検査がありましたが、毎回資料を配布し、事例や検査を通して臨床心理の世界を深めてもらうように心がけました。今後は動画などの教材でわかりやすくしていきます。
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	1 Q	西野 克俊	アンケートの回答ありがとうございます。 船体的には適切であった以上の回答をいただき、ネガティブな要素はないものの、十分に満足できていると言えない部分もありますので、今後改良を加えていきたいと思います。
障害児保育Ⅰ	1 Q	坂上 俊樹	授業の内容は興味関心が持てるものであるの回答で「とてもそう思う」が57%であり、熱心に受講してくれていることはありがたいことです。一方で、この授業の内容は理解できましたかの回答で「とてもよく理解できた」が、29%となっている。このことを真摯に受け止め、よりよく理解してもらえよう教材の研究とともに、提示の仕方の工夫に努めたい。
人文地理学Ⅰ (S)	1 Q	渡部 齋	これからも、講義内容を充実していきたいと思います。
カウンセリング論 (M)	1 Q	佐々木 智城	授業では資料を使ってカウンセリング技法を体験を交えて学べるようにしています。また、カウンセリングで扱われるであろう事例についても触れていき、授業後にも掘り下げることができるようにしました。今後も分かりやすくしていきます。

カウンセリング論 (S)	1 Q	佐々木 智城	授業では資料を使ってカウンセリング技法を体験を交えて学べるようにしています。また、カウンセリングで扱われるであろう事例についても触れていき、授業後にも掘り下げることができるようにしました。今後も分かりやすくしていきます。
社会的養護Ⅰ	1 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。「社会的養護Ⅱ」の授業でも、評価をいただいた受講者一人ひとりの感想・意見を共有することでもに学び合うこと、事例等を通じて社会的養護や児童養護施設等のイメージを持ちやすくする工夫を心がけていきたいと思います。
音楽表現Ⅱ	1 Q	小黒 万里子	今期もコロナ対策の中、最大限注意して対面授業を行いました。保育の音楽表現での歌等、大切な分野が不十分になり残念でしたが、その中でも学生各々が目標達成に努力されました。今後も真摯な姿勢で継続し頑張ってください。
デザイン概論Ⅰ (D)	1 Q	梅田 真紀	具体的な改善点として意見がいくつかありましたので、すぐに対応できる点については改善するよう努めました。授業内容についても知識のみに偏らず、実践的な例を提示していきたいと思います。
デジタルデザインⅠ	1 Q	梅田 真紀	データ作成に当たったの注意事項など、より細かく丁寧な説明をする必要があると分かりましたので、改善したいと思います。
東洋・日本美術史Ⅰ (3年生)	1 Q	金子 敏也	自分の能力を信じて、現状できる努力を続けてください。自分があきらめてしまったなら、それで進歩は止まります。自分を救えるのは自分だけです。
東洋・日本美術史Ⅰ (4年生)	1 Q	金子 敏也	人は他者の能力を評価すると同様に、その人の熱意も評価するものだと感じます。何事も諦めずに進んでください。
子どもの保健	1 Q	中村 則子	今後の資格取得を考え、子どもや現場の実情を伝えることを意識していますが不十分のようです。授業への集中、テキスト内容の理解が深まるような工夫が必要と考えています。
建築計画Ⅰ	1 Q	安藤 淳一	予定していた授業計画に対し、解説する情報量の増加に伴い進行状況に遅延が出てしまったことは反省点であります。情報量の取捨選択を的確に行い、計画に従った授業進行に努めたいと思います。
建築材料実験	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。理解度・満足度も80%程度の評価があり、安心しました。講義授業との関連が実験を通して理解が深まったとの意見が多数ありました。今年度はコロナ渦で実習は大変でしたが、みなさんの実験に臨む姿勢も良く、協力ありがとうございました。更に実験を通して理解度が増すように努力していきます。
施工管理技士演習Ⅱ	1 Q	小笠原 健	国家試験対策講座であるため、二級建築施工管理技士学科試験にいかにも多くの履修学生を合格させるかが、この講座の成果となります。6/13(日)に実施された本試験では、履修者7名中6名が合格確実な状況で7/6(火)の合格発表を待つ状況となっています。履修学生からの授業方法についての要望もあるでしょうが、この対策講座の授業方法にて結果が出ている以上はベストな授業内容であるものと思料します。
図学 (建築図学を含む)	1 Q	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございます。パワーポイントによる作図手順が丁寧であり、わかりやすいとの評価がありました。授業満足度は「満足できた」以上が80%程度と高評価でした。しかし、授業進行が速すぎるとの意見もあり、理解度の確認などをチャット機能などを利用しながら改善していきます。またリモート授業では作図を近くで参考にできるので、教室のプロジェクターよりも理解しやすいとの意見もあり、プロジェクター表示の修正も検討します。
デザイン概論 (A)	1 Q	梅田 真紀	すべての項目で高評価でした。授業内容については、知識のみに偏らず、実践的な例を提示していきたいと思います。
北国の建築と住まい	1 Q	安藤 淳一	「北国の建築と住まい」で学ぶことは、今後北海道はもとより、日本で建築を生業とするうえで欠かせない知識であると思い授業を進めております。今後とも、理解すべき知識、わかりやすい説明に心がけて、授業を進めてまいります。
建築構造力学Ⅲ	1 Q	小笠原 健	座学講義ですので、授業では解説が中心となります。履修学生には、問題集と解説集を配布しており、予習復習に役立てるようにしています。限られた授業時間内に一部の学生が希望する問題を解く時間を与えることは不可能ですので、問題は自宅学習としています。それを理解せず、予習復習もせずに授業へ出席する学生が多く、半数ほどの履修学生は落第となっています。今後、どう履修学生に自宅学習を促せるかが課題ですが、勉強する習慣化させる努力は大学全体のテーマとして取り組んでもらいたいと思料します。

測量学	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。授業理解度・満足度などが80%以上となり、全体的に良い評価コメントでした。配布資料・教科書等も適切であったとの意見もあり安心しました。次年度は理解度が更に増すように配布資料や実技の充実を検討していきます。
コミュニケーション論	1 Q	山本 一彦	大講堂でかなりの大人数授業となったため、ホワイトボードへの板書に苦労した。やはり、文字が見にくかったとの回答もあり、次年度はさらに表示を工夫し、受講者の授業内容理解を高めるよう心掛けたい。
ビジネス創造論	1 Q	阿部 裕樹	リモートと対面併用のハイブリット型の場合の授業の方法はまだまだ改善予知があると認識しております。受講者全員が満足できるように工夫していきたいと思ひます。パワーポイントの切り替えが早すぎるといふ意見は毎回頂くので、なるべく1枚にポイントを圧縮して投影時間を長くするように努めます。
トレーニング 科学 I	1 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。今回は途中からリモートになってしまい、大学入学したばかりで大変だったと思ひますがよく頑張りました。講義の内容としましては、今後も新しいものを常に学生に発信できるよう努めていくこと、学生数に伴った個別対応の充実を図っていきなさいです。その他にも、リモート講義での対応であったり、イラストや表などの見やすさなどのご指摘をいただきましたので、改善に努めていきなさいです。
商法	1 Q	青山 浩之	平均出席率90%、回答率97%。第1回から第8回は対面授業、北海道の緊急事態宣言に伴い第9回から第14回は遠隔授業により講義を実施。遠隔授業では、パワポのスライドの画面共有で講義を進め、印刷用資料を配信。設問10「全体満足」は好評価を受けました。自由記述では、「プリントがわかりやすかった」など評価をいただきました。しかし遠隔授業では、配布物を印刷し受講しないと大変だと推察されます。特に遠隔授業で理解を深め、興味を持てるように努力したい。
ビジネスプランニング論	1 Q	石山・信濃	ビジネスプランニング論は、経営学の専門科目の理論を使って、実施に起業するための計画書を作成するという講義です。2年時の前期に実施するのは、少しハードルの高い内容になりますが、将来、社会人になった時に計画を策定して提案できる能力は必要です。ぜひ、後輩たちにも積極的に受講するよう勧めることを期待します。
体育史	1 Q	尾西 則昭	回答ありがとうございます。授業時間の配分、授業の進め方、学生の理解度等の確認を怠っていたようですので改善、工夫に努めたいと思ひます。ありがとうございます。
ホテルマネジメント論	1 Q	五ノ井 壽一	より興味をもち、理解力を高めるように、声のボリュームアップとか前方に座席誘導するなど工夫・努力します。又、板書や資料配布等にも心掛けます。
経営分析論	1 Q	石山 玄幸	受講学生から高い評価を頂いたことに感謝する。当該講義は、経営分析の基本を学ぶことであるが、受講することで、企業の財務状況を把握することができ、就職活動、そして、社会人になってからも大いに役立つものと考え。開講日時が1講目という理由だけで、受講しない学生が散見されるが、次年度以降も積極的な学生の受講を期待する。
スポーツとヘルスケア	1 Q	佐藤和・三嶋	今年度も新型コロナウイルスの感染予防をしながらの授業のため、対面授業と途中から遠隔授業に移行するなど、授業内容が理解できなかったのか心配な部分はあった。特にテーピングの実技授業は「三密」となるためソーシャルディスタンスの観点から今年も中止とし、前回の反省から今回は視聴覚教材を取り入れ工夫をした。また、遠隔授業でプリントを配布できなくノートを書き取る時間配分がなかったのは今後の課題である。
国際経営論	1 Q	岡島 徳昭	教科書以外に資料を活用しより実践的な授業になるよう努める。又パワーポイント等の教材の利用により分かりやすい講義を目指す。
産業社会論	1 Q	山本 一彦	4年次配当の専門選択科目であるため、受講者の受講意欲は高かったものの、よく理解できないと回答した受講者があり、次年度への反省としたい。また、就職活動で欠席する場合への対応・配慮を工夫したい。
ビジネス英語	1 Q	石田 暁子	今回の授業は、前半が対面、後半がオンラインだった。オンラインの授業では、途中でオフラインになったことがあり、申し訳なかった。留学生の人数が予想より多く、試験での日本語訳を心配していたが、漢字圏ではない留学生の答案に正確な漢字が使われており、努力が伝わってきた。

スポーツ原理	1 Q	高井 雅一	当初は、グループ討議や発表する場面を多くして展開する予定でいたが、オンライン授業が始まりできなかった。オンラインに対応できるよう事前にプリントを配布していたので授業はスムーズに進めることができた。ただし、オンライン授業の進め方、やり方などの技術を身につけていく必要はある。
スポーツビジネス論	1 Q	鈴木 重政	最終レポート「北海道ポールパークの顧客を明らかにし、顧客に提供する価値とは何か」に対して、本授業が要求するレベルを満たすレポート提出した学生が多かったのは嬉しい。次年度も同様に講義を行います。
スポーツビジネス論 (SP)	1 Q	鈴木 重政	最終レポート「北海道ポールパークの顧客を明らかにし、顧客に提供する価値とは何か」に対して、本授業が要求するレベルを満たすレポート提出した学生が多かったのは嬉しい。次年度も同様に講義を行います。
社会学概論	1 Q	松下 守邦	今後も授業にて学術文献精読（アカデミックリーディング技法）を進めてまいります。対面授業にてTeamsを併用して配布資料のファイルリング、各授業終了後、掲示板に記載してきました。学生はひとり3回分担報告、注釈、要約をおこなうための準備学修を誘導しました。Teamsチャンネルには授業経を記録、情報共有しました。学生コメントにある”各授業の進行”は、毎時、学修過程を記載してきましたので確認ください。
アグリビジネス論	1 Q	石山 玄幸	当該講義は、本年度からスタートした新たな科目であったが、学生から高い評価を頂いたことに感謝する。選択科目かつ経営やスポーツに直接関わりのない科目であり、一般教養的な側面が強いことから、やや受講者数が少ない傾向にあったが、学ぶ意識の高い学生が多かったところが印象的であった。
教職論	1 Q	荒木 広式	毎授業時に課題を設定し、構想⇒情報収集⇒思考⇒表現の過程を通して、課題に主体的に取り組む姿勢の醸成を目指しました。一定の成果が得られたと思います。今後とも、教育の最新情報や教育現場のエピソードを紹介するなど、さらに興味のある授業づくりに努めます。
教育原理 (M・D・A)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が95%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%、「説明や記述」は、「適切だった」以上が100%、「教材」は、「適切だった」で以上が100%でした。「考える授業でとても充実した授業だなと思いました。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
教育原理 (S)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「アクティブラーニングを取り入れていて授業内容が理解しやすかったです。常に考える授業だったので面白かったです。」「グループワークも多く、考える機会があり学習内容が身につくことができた。」「とても分かりやすく、楽しい授業でした。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。